

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>



QRコード

第29回
No.8

2018.2.14 発行

編集 広報部

第29回関東アコーディオン演奏交流会「第10回実行委員会」が2018年1月21日エデュカス東京で開催されました。出席者【池田、小神、織田、乙津、佐々木、塚本、橋本、東谷】(あいうえお順)

議事録より

- ① 第30回演奏交流会について
9月開催にむけて3月に行われる抽選会に臨む。
6か月前の抽選会場だけだと今後心配なため、1年前に抽選が行われる会場も含めて対応していくことを検討する。
 - ② 各部からの報告
企画部…会場が確保でき次第交渉できるように、ゲスト候補者のリストアップを始める。
 - ③ 組織部…現段階では特になし。
 - ④ 広報部…2018年1月より郵便料金が改定され「ゆうメール」の運賃が改正(値上がり)した。
ニュースを1部郵送のところは当面切手(82円)を利用することになる。
 - ⑤ 審査事務局との話し合い…4月22日(日)18:00より、エデュカス東京で行う。
 - ⑥ 東北アコーディオンジャンボリー(6月16日～17日予定)に向けた取り組みを呼びかけていく。
 - ⑦ 関東アコーディオンアンサンブルの取り組み。(参加の呼びかけと練習日程調整を進める)
- ⑥と⑦について…まずは現時点で参加希望のメンバーで1回目の練習をする。詳細は2ページに掲載



アコ解体ショー(修理講座)と花見のお知らせ

2018年4月1日(日) 13:00～ ☆講座指導:和田欣也さん

場 所 エデュカス東京(市ヶ谷)

参加費 ￥1,000円(すべて含む)

■アコーディオンの中をのぞき、ちょっとした“修理のコツ”をゲットしよう！

講座の後はお花見で交流しましょう。アコーディオン演奏も歓迎♪

花見は、晴れたら「市ヶ谷の川沿いの公園」を予定。雨天の場合はエデュカス東京の会議室で行う。

★申込み・問合せ 044-877-9871(塚本)

目次

- 実行委員会議事録より / アコ解体ショーと花見のお知らせ…1P
- 東北アコーディオンジャンボリー、関東アコアンサンブルへの合奏参加者募集…2P
- 曽我部清典 & 大田智美 ジョイントリサイタル…3～6P ■ホワイトボード…7～8P

第 6 回東北アコーディオンジャンボリーへ参加しませんか 2018.6.16(土)～17(日)

今までも実行委員有志と呼びかけで集まった皆さんとで合奏曲を練習し参加してきました。今回も参加を目指し、皆さんに呼びかけることになりました。2 月から月に 1 度合同練習を予定しています。練習会場などはニュースの中でお知らせするので皆さまも奮って参加をご検討ください。

曲名 コラソン・デ・オロ(タンゴ) 予定

指導 池田健氏(関東アコ実行委員)

練習日程 2月25日(日) / 3月21日(水・祝) / 4月15日(日) / 5月6日(日)

練習会場 2月と3月はエデュカス東京(下記地図参照)。4月以降の会場は未定

申し込み先 池田健 047-320-6015(Fax) ken4425@ka2.so-net.ne.jp(Mail アドレス)

第 1 回・第 2 回練習日程と練習会場

日にち 2月25日(日) / 3月21日(水・祝)

時 間 18:00～21:00

会 場 エデュカス東京

交 通 JR「四谷」または「市ヶ谷」
駅より徒歩7分

会場案内

旧日本テレビビル向かいにある
地学会館ビルを目印に、同ビル
脇の路地に入る



関東アコアンサンプル **参加者募集開始！！**(開催日、日程、会場は未定)

今年開催予定の「第30回関東アコーディオン演奏交流会」合奏の部への参加に向けて有志で練習を始めます。練習に参加できる方であればだれでもメンバーになれます。皆さんも一緒に参加してみませんか！

曲名 東北アコジャンに向けて取り組む曲と同じ曲にするか検討中

指導 池田健氏(関東アコ実行委員)

練習日程・会場 上記、東北アコジャンに向けた練習日程、時間と同じ

申し込み先 池田健 (Fax)、(Mail アドレス)は上記と同じ

「曾我部清典 & 大田智美 ジョイント・リサイタル」を聴いて

2018年1月29日(月)19:00開演 会場／両国門天ホール

会場は思っていたイメージとだいぶ違っていました。隅田川沿いにあるビルの1階にあり、中へ入ると天井には移動式の照明器具が数台設置されていて隅にはカバーを掛けられたピアノが置かれていました。客席用に2段のひな壇が用意され椅子が並べられていました。それだけで



は足りずステージ横にも足したので、お客さんの数は40名弱だったと思います。多目的に使えるスタジオのようでした。(写真は入り口の様子)



主催者あいさつ・・・この企画は、毎年国立音楽大学で行っているワークショップの授業の中で様々なゲストにお越しいただいて、現代奏法や作曲についてレクチャーが行われています。

毎年度末に、そのゲストの内1～2名のリサイタル形式でコンサートを開催し、その成果を発表してまいりました。2017年度として、今回トランペットの曾我部清典さん、アコーディオンの大田智美さんによるジョイント・リサイタル形式で開催することになりました。(ワークショップ担当川島素晴氏)

《前半は2年生ばかり3名の方の作品を発表》

最初は小畑有史さんの作品「Study for Accordion Solo」で演奏は大田智美さん。

聴いてみて・・・5分ちよつとの曲で、一面に広がる草原、遠くには草を食む牛がいるそんな草原の中の柵に一人寄り掛かり、離れて暮らす家族

か恋人に想いを寄せている姿を浮かべて聴いていました。

演奏後作品について語った小畑有史さんのコメント・・・私はアコーディオンという楽器は親しみのある楽器だなあと考えていて、民族的な要素もありつつ、実際の音色がオルガンの響きに似て輝かしい音がする。何か素朴さの反面そうゆう要素もある。二つの要素があるおもしろい楽器だと思っていて、自分なりに掘り下げてみたいと思って書いてみた。

オルガンのような響きということで三和音をきれいに響かせることをコンセプトにしてみました。

演奏者の感想・・・音大の学生って奇抜なことにチャレンジする人が多い中で素朴な響きにチャレンジされたのは意外でした。

続けて小畑さんのトランペットの作品「FOLK ROA」を演奏。(トランペット：曾我部清典さん)

演奏の前に作者のコメント・・・トランペットの「ソロトーン」というミュート(弱音器)を付けた音がレコードのようなノスタルジックな音がして好きなのでそういう要素を使ったものと、私なりの「フォークロア(民族、伝承ということですが)」イメージを融合させてみました。

聴いてみて・・・江戸時代にタイムスリップしたかのような、夕暮れの町を物売りが通り過ぎてゆくそんな景色が浮かんできました。こちらも6分弱の作品です。

次は、佐久間奏さんのアコーディオンソロの作品「平安時代」演奏は大田智美さん。

演奏の前に作者のコメント・・・いままでアコーディオンってちよつと民族的な、日本風ではないというイメージがあったんですけど、大田さんからワ

ークショップの中で「笙」が元につくられたと聞き、言われてみると雅楽の笙みたいな和風っぽい感じがするなと思い、和風の基本和音を使ってアコーディオンだけど和風な音楽を目指してみました。

イメージは平安京。アコーディオンならではの奏法を使って平安京で貴族たちがゆったりと過ごしているところから始まり、途中権力争いみたいなちょつと激しいところも入れてみました。

聴いてみて・・・左手空気ボタンを使って風の流
れから始まります。そこに小鳥のさえずりが聞こえ
雅楽が流れる中、まどろみから1度覚めてもう1
度夢の中へ落ちてゆくそんな絵が見えたように
思います。(初めに曲想を聞いたせいかな)これ
も6分ちょつとの作品でした。

次は山田奈直さんの作品「Nyaaao」(ニャー
オ)演奏は(トランペット:曾我部清典さん)

聴いてみて・・・この曲も息をふくところからはじまる。
猫が背中を反らしてあくびをしたような音がしばらく
続き、威嚇したりケンカしたり、けんかに負けて悔
しい猫でしょうか、また勝った方のねこ、いろいろ
な擬音が登場します。

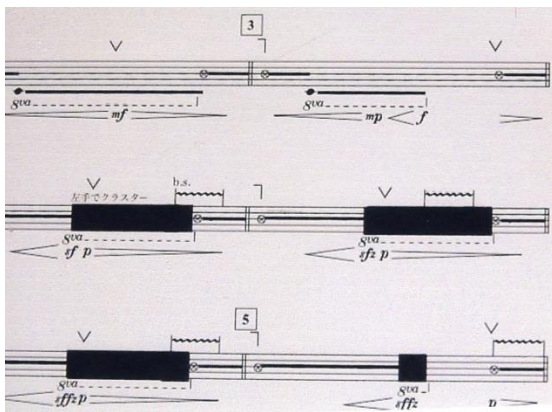
演奏後に作者のコメント・・・最初は猫っぽくなく
て曾我部先生のアドバイスでメローミュートとワウ
ワウミュートが合体した“メロウワウミュートを使う
ことで猫の鳴き声らしくなりました。

続いて同じ作者で「私の睡眠を阻害するもの」
演奏は大田智美さん。

演奏前に作者のコメント・・・アコーディオンは蛇
腹を開いて閉じる行為で、空気音だけ出せるボ
タンがあると知ったときに使いたいと思って、要
素を絞って書いた曲です。(人が眠っているとき
の腹式呼吸を連想してつくった:プログラムより)

聴いてみて・・・左手だけでの演奏です。かすか
な寝息のような情景から始まり、無呼吸症候群
の人がときに引かなかったような“ウガガ”ツ”と発
するいびきのような音が入り、さいごは自然な寝

息に戻ります。7分ぐらいの作品でした。



上の写真は、リサイクル終了後作者に見せてい
ただいた譜面の一部です。左側が映っていない
けれど五線紙の最初にへ音記号 **B** が
付いていました(他のページまでは確認していま
せん)そして、横軸は時間(秒数)で表していると
話していました。

・・・・・・休憩(10分)・・・・・・

第2部は、金ヨハンさんの作品、2曲あり1曲
目は「Oral-Valve-Slider for Zephyros」

演奏は(トランペット:曾我部清典さん)

作品の説明は、筆者には難解なので、プログラ
ムのコメントを転記させていただきます。

以下プログラムより転記・・・楽器と言うものを
「音をたてる器械」として考えることができるのであ
れば、ゼフィロスという器械は通常のトランペット
より複雑な仕組みをしている。それはただスライド
が付け加えられているトランペットではなく、ヴァル
ブとスライドで管の長さをコントロールして音を出
すことから、三つのヴァルブのコンビネーションよ
りもっと多い組み合わせの仕方が存在する楽器
である。という発想から、譜面にも楽器の仕組み
そのものが現れるように書きたかった。

音楽自体はヴァルブとスライドのコンビネーシ
ョンの数を聴くことが目的ではなく、ロ、ヴァルブ、
スライドの動きが合わさって生まれる一つの複雑
な音像を作って行くことを目指した。

聴いてみて・・・オランウータンの叫び声の様なふるえた音から始まる。威嚇しているようでもあり、遊んでいるようでもあり、群れとのコミュニケーションでもあるのか。鳥の羽ばたきのような音も出てきます。

演奏後“今のは何ですか”と川島先生に問われた作者のコメント・・・つくろうとしていたのは、口の操作、ヴァルブの加減、ヴァルブを用いる場合は全部押したり押さなかったりが多いけど、私はハーフヴァルブと言って、音を狂わせて、または鳴らない音にして逆にそれを音として使いたいというのと、スライドの速さといいますか音に実際還元されるもの、動きというものが別々に成り立つようにしたかった。その結果こう、ぐちゃぐちゃになったということです。(笑)(彼は韓国からの留学生で7年目とのことです)

同じく金ヨハンさんの次の作品「Metaphrastic style with S. B」は映像を「楽譜」のように扱おうとした作品です。演奏は大田智美さん。

作者のコメント・・・常に挑戦ですけど、譜面って紙に印刷するものだと思っているし、映像でも楽譜として用いることができるのではないかとあって、私が初めて作ったわけではなく、いろいろ流れはずっとあって、実際の演奏者と「こういう音にしてください」とか、「こういうふうに音楽をつくってみてください」ってゆうのをやってみたい。これも複雑怪奇、ぐちゃぐちゃかもしれないけれど聴いてください。B. S (サミュエル・ベケット)の有名な作品がありまして、その作品を引用しています。

演奏の様子・・・スクリーンに映像を写す。椅子が置かれているところから始まる。(スタジオにも同じ椅子が置かれている)⇒スタジオに置かれた椅子に大田さんが座るとスクリーン上の椅子にも同時に腰掛ける姿が映る ⇒ 映像は楽器(大田さんの使っているアコーディオン)と手の動きがアップで写されている。映像のアコーディオンの蛇腹がゆっくり開くと大田さんもゆっくり開く

(映像から出ている音か、スタジオの大田さんから出ているのははっきりしなかったけれどもかすかに“ピー”と聞こえる。音を出さずに両手でボタンを触りだすと、スタジオの大田さんも同様に両手でボタンを触り始める ⇒ やがて映像の手がボタン、スイッチ、ボディいろいろなところを触りだすと、スタジオの大田さんも映像に合わせて似たような動きをする ⇒ 映像が映写室のような場面になり、アコーディオンの映像が時折差し込まれる。映写技師でしょうか、フィルムの巻かれた映写機か、テープレコーダーのリールを止めたりする動きに合わせてスタジオの大田さんもスイッチを押したり“カジャ、カチャ、トントン”と音が入りだす ⇒ 映像の人物が語り始めると、スタジオの大田さんが、人の話す言葉に合わせて声優のように真似る(音を出す)また、機械的な音に合わせて音を重音などで探る。そのような進行で、最後は何のうたか歌い始めると、映像に合わせてアコーディオンでそれらしきメロディーを弾く。スローモーションのようにテープレコーダーの回転が次第にゆっくりになり音声はゆるんでさらにゆるんで終わる。(15分ぐらいの作品でした)

聴いてみて・・・楽器の様々な部分を触って遊んでいるような映像は、筆者の孫がまだ就学前の時期に遊びに来てアコーディオンの鍵盤だけでなくいろいろなところを触りまくって音が出るとびっくりしたりにこにこして遊んでいたときの姿を思い浮かべました。

バラライカでもときに人の声に聞こえることがあるし、トランペットも人の声をまねることがあるので多くの楽器は人の声をまねることが可能なのかもしれません、人間の声帯に似た要素があるのかもしれませんね。

次の作品は主催者、川島素晴氏の作品「ペタコ / Pet-Acco」で、演奏はトランペット: 曾我部清典さん、アコーディオン: 大田智美さんです。

作者コメント・・・複数楽器が融合した姿を意味

する造語による題名のシリーズで、今作はペットとアコーディオンなので《ペタコ》。

今作はペタコという題名を考え付いた瞬間、ああ、これは「ペ」と「タ」と「コ」だけで行こうと思いついた。もともと曽我部さんとはしゃべっている言葉をトランペットでまねしていく曲がありまして、今日は「ペ」と「タ」と「コ」だけしかないので、アコーディオンで合わせればよりそれらしく聞こえるのではないかなとやってみたという作品です。

聴いてみて・・・トランペットは開いた先のところにおわんのような器具を当てて使う。どうしたら「ペ」と聞こえるか、「ペー」と聞こえるか、「ペツ」と聞こえるか「ペペペ」、「ペツペツペツ」の連続です。

プログラムには「ペー」（長音）「ペツ」（促音）「ヘン」（撥音）と言ったそれらに付随する2モールのヴァリエーションと書かれている。

5分程度の作品でした。

皆さんもアコーディオンで「ペ」「タ」「コ」に挑戦して遊んでみてはどうでしょうか、きっと楽しいですよ。

最後は篠田昌伸さんの作品をゲストの山田岳さん（ギター）、トランペットの曽我部清典さん、アコーディオンの大田智美さんの4名で演奏します。（指揮：篠田昌伸さん）

作者のコメント・・・はつきり聞き取れなかったの以下プログラムより1部を転記します。

4つの小品からなり、いわゆるパントマイムの代表的な動作を模している。

第1曲「壁」はそこに壁があるように見せる最もポピュラーなパントマイムの動作を、

第2曲「ロボット」は機械人間の悲哀を、

第3曲「階段」は小さきさまざまな段を昇降する

動きを、

第4曲「ジャグラー」は様々な物体を回転させていくジャグリングの様子を、それぞれ想像して頂けると楽しいと思う。

聴いてみて・・・第2曲「ロボット」では、弦をこすったり、トランペットが叩くような音だったり、第3曲「階段」では足を踏み鳴らしたり、第4曲ではギターを膝の上に寝かせパーカッションのように使ったりします。多彩な技の花が開いたようにとてもにぎやかです。15分ぐらいの曲でした。

各楽器はそれだけでも魅力があるだけでなくその上に弦をこすってみたら思いがけないおとがでた。こする道具を変えてみたら意外な音になった。あるいは何気なく叩いてみたら面白い音が出た。トランペットでもスライドの加減で思いがけない音になったとか、ヴァルブと組合せることでかぞえきれない音がつくりだせたり、アコーディオンでも、空気ボタンを有効に使った演奏はすでに多くの演奏者が試みているところです。

そのようにそれぞれの楽器が可能性を主張し合うとこのようなアンサンブルになる。そんな演奏でした。

■主催者：川島素晴氏プロフィール■

東京芸術大学、同大学院修了。1992年秋吉台国際作曲賞、1996年ダルムシュタット・クラニヒシュタイン音楽賞、1997年芥川作曲賞、2009年中島健蔵音楽賞、2017年一柳慧コンテンポラリー賞等を受賞。「演じる音楽」をテーマに創造活動を続ける。日本作曲家協議会理事。国立音楽大学准教授。東京音楽大学、尚美学園大学各講師。（プログラムより転記）

（文責：乙津）

30回を迎える関東アコは今年度、重奏・バンド/アンサンブル・合奏部門の演奏交流会（コンクール）を企画の予定です。アンサンブルの楽しさを広げたいと考えていることと、作曲を志す若い方のアコーディオン観が参考になったので、少々長くなりましたけれど主催者の了解を頂き音楽大学の作曲生を対象にしたワークショップの取り組みの一端を紹介してみました。

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪ * 谷口楽器のホームページより*

会 場 谷口楽器4階アコーディオン売り場 ◆住所 千代田区神田駿河台1-8 タニグチビル4階
第187回 2018年3月18日(日) 13:00~14:10 講師: 横内信也氏

「スタジオミュージシャンとしてのよもやま話と演奏」

問合せ 要予約 TEL03-3291-2711 Fax 03-3291-5188 ★各回定員20名(入場無料)

<http://www.taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

♪田ノ岡三郎さんホームページより♪ * 田ノ岡三郎さんの HP <http://tanooka.net> *

日 時 2018年2月21日(水) 開場/19:00 開演/19:30

会 場 Cafe & Live spot FJ's ★東急東横線「祐天寺」駅より徒歩7分 HP : <http://fjlive.com>

出 演 アコアコサックス【多田葉子 sax.cl、熊坂るつこ acc、田ノ岡三郎 acc】

予 約 3,000 円 当日 3,500 円(別途ドリンク) 予約はこちらでも承ります→ tanookasaburolive@gmail.com

■メールでのご予約は info@fjlive.com までお願いします。

1.ご希望の公演日 2.ご希望の公演名 3.お名前(フルネーム) & フリガナ 4.人数 5.お電話番号を送信ください。折り返し確認のメールをお送りします。

日 時 2018年3月3日(土) 開場/18:30 開演/19:30 予 約 3,500 円 当日4,000 円(+2オーダー)

会 場 下北沢 440 <http://440.tokyo/> Tel 03-3422-9440(16:00~)

★小田急線・京王井の頭線、「下北沢」駅南口商店街を直進、王将の先ファミリーマートの隣です

出 演 山田晃士 & 流浪の朝謡『六人囃子』

山田晃士:vo.g 福島久雄:g 早川岳晴:b 渡辺隆雄:tp 田ノ岡三郎:acc 高橋ロジャー和久:ds

♪セルビア ローラ民族音楽舞踏団 2018年日本公演日程♪ * フォークダンスは KOL0 に始まり KOL0 に終わる *

日 時 2018年2月27日(火) 13:30(プログラム A) 牛久市中央生涯学習センター文化ホール

日 時 2018年2月28日(水) 13:30(プログラム B) さいたま市文化センター

日 時 2018年3月1日(木) 13:30(プログラム B) 鎌倉芸術館

日 時 2018年3月2日(金) 13:30(プログラム A) 千葉市文化プラザ

日 時 2018年3月4日(日) 13:30(わくわく交流後援フェスティバル+A) 横浜市鶴見区サルビアホール
他、3月5日(練馬)、6日(宇都宮)、7日(福島)、8日(仙台市)、10日(国立オリンピック記念青少年センターホール/
14:00「本公演+ROMAFEST ジブシーダンスフェスティバル」)、12日(前橋市)、13日(長野市)、14日(富士市)

コメント 見どころは何といってもコロー舞踏特有の足裁きにある。それを一言で形容すれば、セルビア語の Suptilan(英語 Subtle 細かい)ということであろう。それが舞台の上で綺麗にそろったとき、輪の踊りの素晴らしさが一層引き立つことになる。これがまさにコロー(輪舞)の第一の見どころ醍醐味である。(チラシより一部を転記/文:セルビア民族舞踏愛好家 長江勝)

チケット 前売り4,500 円(3月10日を除く) 学生3,000円 小中高 1,500 円 ※詳細はホームページ参照

チケット申込み 042-679-3837 Fax042-679-3517 ホームページ <http://www.folklor.com>

♪かとうかなこさんのホームページより♪ * <http://www.katokanako.com/index.html> *

日 時 2018年2月27日(火) 開場/18:00 開演/19:00

会 場 マウントレイニアホール渋谷 03-5459-5050(渋谷プライム6階)

★東急東横線・東急田園都市・東京メトロ副都心線・東京メトロ半蔵門線「渋谷」駅1番出口0分

出 演 227(ピアノ&パーカッション)

ゲスト出演 かとうかなこ(クロマチック・アコーディオン) 谷口翔有子(タップダンサー) and more

料 金 全席自由 [前売]4,300 円/当日 4,800 円(ドリンク代別)

チケット・問合せ SOGO TOKYO TEL:03-3405-9999 チケットぴあ TEL:0570-02-9999 [P コード:348-536]

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪うたごえ喫茶ともしびがあなたの街にやってくる!♪

◎ 日 時 2018年2月22日(木)【午前】 開場:午前9時30分 開演:午前9時50分(終演予定:11時30分)
会 場 大泉学園ゆめりあホール ★西武池袋線「大泉学園」駅より徒歩1分
会 費 2,000円(全席自由)

◎ 日 時 2018年2月26日(月)【午後】 開場:午後1時30分 開演:午後2時(終演予定:午後4時)
会 場 二俣川サンハート ★相鉄線「二俣川」駅より徒歩1分
会 費 2,000円(全席自由)

※ともしび歌集「うたの世界」533と209を使います。 当日貸し歌集をご利用の際は、別途100円かかります。 ★満席になり次第締め切ります。

問合せ ともしび音楽企画:Tel.03-6907-3801 Fax.03-6907-3812 <http://www.tomoshibi.co.jp>

..... ♪PAN CAKE Afternoonライブ♪ *大塚雄一さんの HP <http://www.hi-ho.no.jp/acc-ohtsuka> *

日 時 2018年2月25日(日) 1st 13:00~ 2nd 14:15~
会 場 strings Tel&Fax 0422-28-5035 ★JR中央線「吉祥寺」駅北口より徒歩5分 パルコ方面に直進、信号を渡り、中道通りを進んで二つ目の角を右折、白いレンガのビルの地下1階。
出 演 PAN CAKE 原田芳宏(スティールパン) 大塚雄一(アコーディオン) 小畑和彦(ギター)
料 金 2,900円(税込2ステージ料金、入替無し)

日 時 2018年3月10日(土) 16:00~18:00
会 場 **バーインブロンタ(高円寺)** Tel 03-6873-7670
出 演 大塚雄一ソロライブ(アコーディオン弾きます! 唄歌います!)
料 金 投げ銭+1オーダー
■席数に限りがありますのでご予約をお薦めします。



..... ♪音楽センターアコーディオン科 中部金曜教室 春のコンサート♪ *入場無料*

日 時 2018年3月11日(日) 開場/13:30 開演/14:00
会 場 なかの芸能小劇場 ★JR 中央線「中野」駅北口から徒歩5分
曲 目 ショスタコーヴィチ「ジャズ組曲」よりワルツ第2番 男はつらいよ 碧空 小さな喫茶店 他
指揮・音楽指導 中山英雄・森陽介 **ゲスト出演** 山田千賀子(ソプラノ)
問合せ 03-2855-3419(鈴木) 03-3208-8377(音楽センター教育部)

..... ♪音楽センターアコーディオン科 南部教室 スプリングコンサート♪ *入場無料*

日 時 2018年3月18日(日) 開場/13:30 開演/14:00
会 場 川崎総合自治会館ホール ★「武蔵小杉」駅 JR 南武線(西口)、東急東横線(南口) から徒歩13分
曲 目 ポールシユカ ポーレ 波路はるかに ハバナラ&トリアドル トロイメライ ルイ・ボスティエノ
サウンドオブミュージックメドレー 過ぎ去りし永遠の日々 椰子の実 ☆フルート演奏、二胡演奏、他
指揮・音楽指導 稲葉由理子・森陽介 **ゲスト出演** 山田千賀子(ソプラノ) 伴奏:森陽介
問合せ 03-3208-8377(音楽センター教育部)

「第29回関東アコ第 11回実行委員会」のお知らせ

2018年2月25日(日) 14:00~ (18:00~アンサンブルの練習) 会場 エデュカス東京(市ヶ谷)

■第30回関東アコ準備会に向けて ■伴奏講座会場取り ■東北アコジャンに向けた取り組み ■その他